

大学治安立法に対し、 第二第三の安田講堂死守戦を告げよ！

**マルクス主義
全学連**

本集會に招集された全都の
十一月決戦の火がたは閉じ
大学治安立法を強行採決し

差を起すべし人民大衆の反風を起すべし
迎撃運動交渉の成功に賭けている。この大学治安立法の強行採決は、
は、アメリカ帝国主義のベトナム侵略戦争における軍事的な敗北を集中的に表
現とするアジア情勢の危機を前にした日本帝国主義が、行政権力のボナパルテ
イスマ的肥大化と警察国家への移行——日本の暗黒政治への道——を本格的に
歩みはじめたことであり、そして、これは同時に十一月決戦に対する先制攻撃
を仕掛けてきたということでもある。十一月決戦が、安保撤廃・日帝打倒を基
本戦略とする七〇年と七〇年代の階級闘争の一大突破口となることを見据いた帝
国主義者が、七〇年果敢の決定的鍵を十一月決戦をつぶすことに定め、十
一月を併たすして加えてきた先制攻撃、これが八・三強行採決の内実である。

従って大学治安立法の強行採決という形をとってマルジョアジーの側から公
然と宣言された十一月決戦の開始という事態を我々は断じて見過ごしては置
かないのである。我が全学連は、かかる事態の本質を鋭く捉えたが故に、諸党
派の混乱を尻目に、この強行採決という暴挙に対し、単なる天毛やおぼろりの
集會ではなく、二度にわたる文部省突入闘争を實現したのである。

戦后民主主義の完全な終焉を意味するこの強行採決は当然にも日本の民衆の
巨大な怒りに直面し、日本全土に八〇年安保闘争における五・一九強行採決に
類似した状況を作り出してきている。我々は、かかる学生大衆の怒りを全日
全民間の絶叫を媒介として革命論議一躍線の下に招集させ、十一月決戦を闘つ
巨万の軍団を作り出していかねばならぬ。従って、大学立法にもとづくバリ
ケード撤去と日帝打倒とをの攻撃に對して、我々は全日大学のバリケード化
をしようとする粉砕しなけれならぬ。八・二、八・三の安田講堂死守戦を實現し、大
学治安立法を粉砕しなすべし。

八・二二晴海闘争に決起せよ！
8・20東京都自治会代表者会談

午後五時、法政大学
講演：古波津英六氏、石田郁夫氏、
基調報告：水谷保寿全学連書記長
「沖繩奪還闘争の前進と秋の方針について」

緊急速報

広大、徹底抗戦でバリケード死守、
本日未明、桂動隊、広大へ襲撃、
全都の学友は広大にツブケッ